

# 平成 2 5 年度 第 1 四半期 業績 説明 資料

平成 2 5 年 8 月

株式会社 **ナガワ**

# 平成25年度第1四半期の概況

## ● 建設市場全般

今期に入り、建設市場は、全般に民間・公共とも堅調に推移している。

住宅着工戸数 → 4月まで8ヶ月連続前年同月比プラス  
 民間建築（非居住用） → 5月2ヶ月連続前年同月比プラス  
 公共工事（大手50社調査） → 5月2ヶ月連続前年同月比プラス  
 （補正予算執行効果継続）



図-1

### 売上高の推移

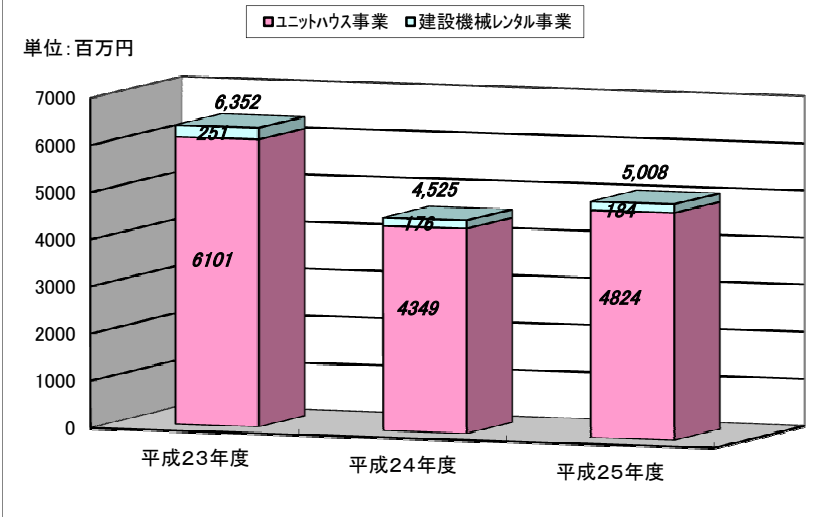
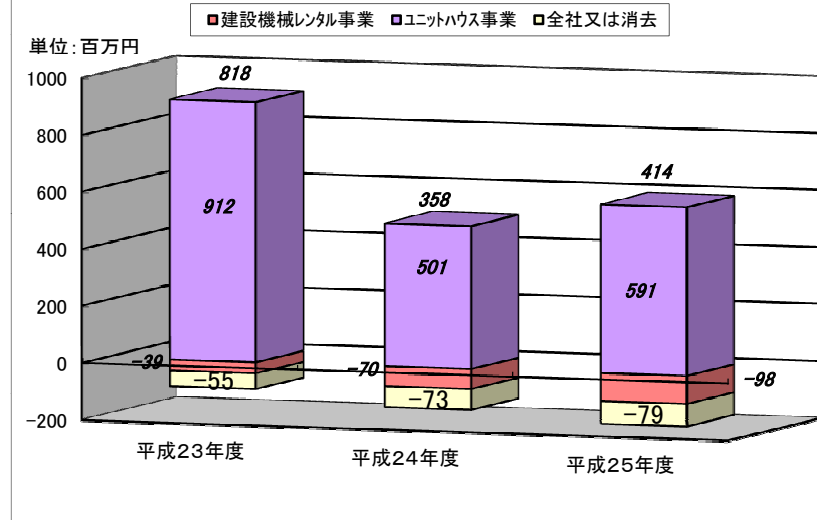


図-2

### 連結営業利益



● ユニットハウス販売（モジュール建築含む）

中古販売は、レンタル稼働が引き続き好調に推移しているため前年並みとなったが、特に新棟販売が好調に推移した。  
 さらにモジュール建築が豊富な受注に支えられ前年比倍増の完工となった。第2四半期以降もさらに売り上げに寄与していく見通しである。



図-3 ユニットハウス事業売上高推移

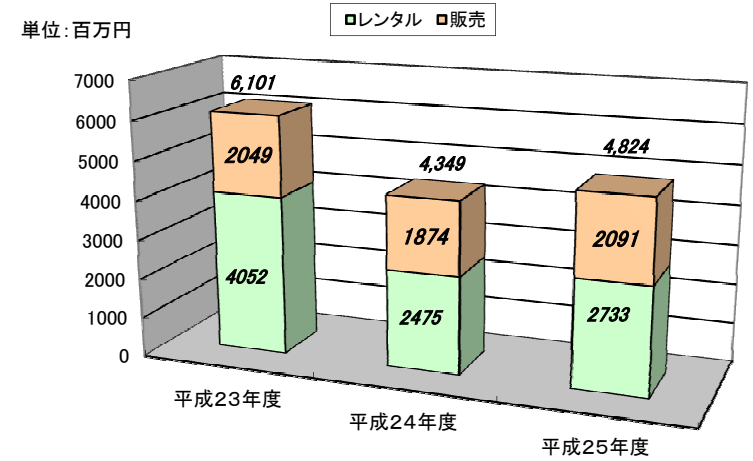
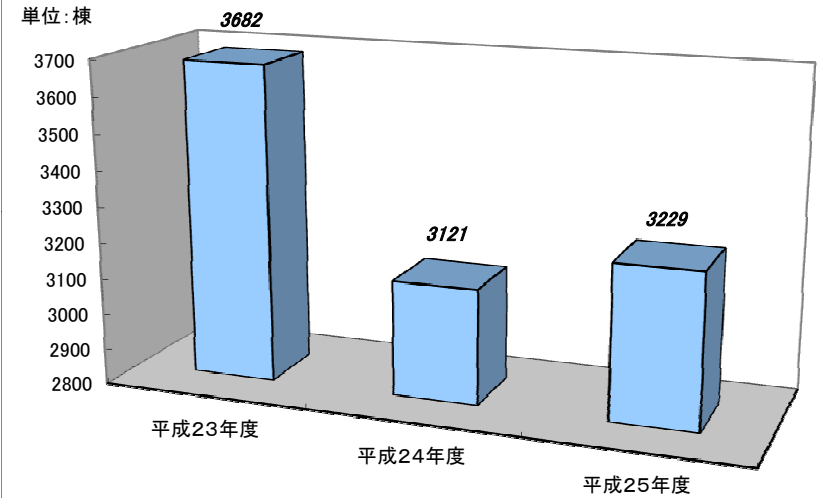


図-4 ユニットハウス販売棟数推移



● ユニットハウスのレンタル

レンタルは稼働数量・単価とも堅調に推移しているが、保有棟数増による償却費増もあり、粗利益率は前年並みとなった。



図-5 ユニットハウス保有棟数・稼働率推移

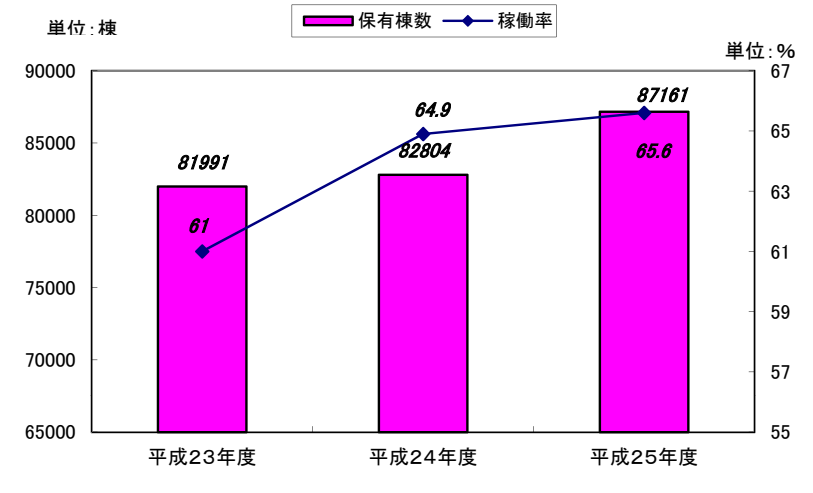
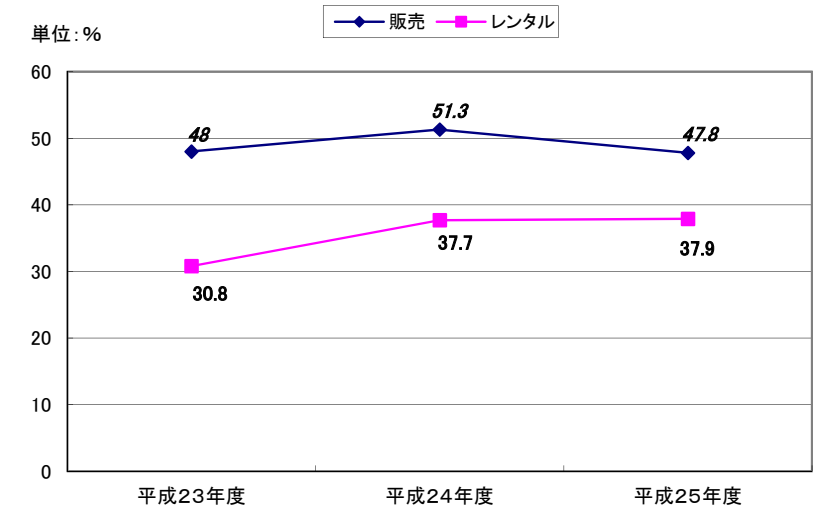


図-6 ユニットハウス事業販売レンタル粗利益率推移



● 建設機械レンタル事業

レンタル単価はほぼ横ばいながら、最も稼働が低調な時期に加え、貸与機械の更新投資による初年度償却負担の影響で原価割れとなった。



図-7

建設機械レンタル事業  
販売・レンタル各売上高推移

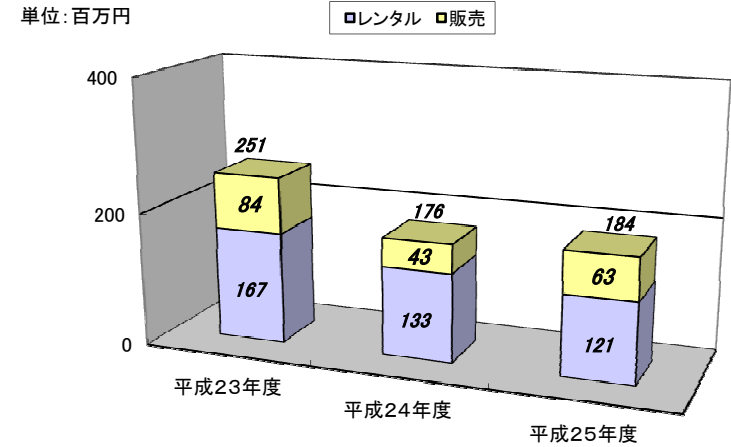
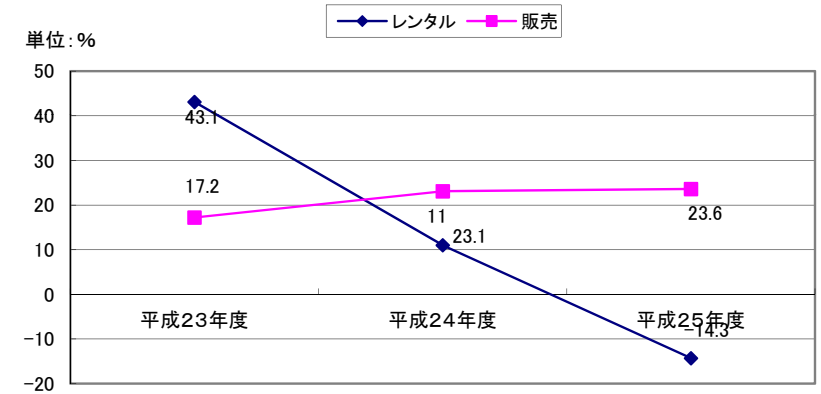


図-8

建設機械レンタル事業販売・レンタル粗利益率推移



● 設備投資

旺盛なレンタル需要を満たすため、貸与資産投資を積極的に実施したことにより、第1四半期の設備投資は前年同期比2.4倍となった。  
したがって償却費負担もレンタル資産を中心に増加傾向が継続している。



図-9

連結設備投資の推移

単位: 百万円

□ 貸与資産 □ 社用資産

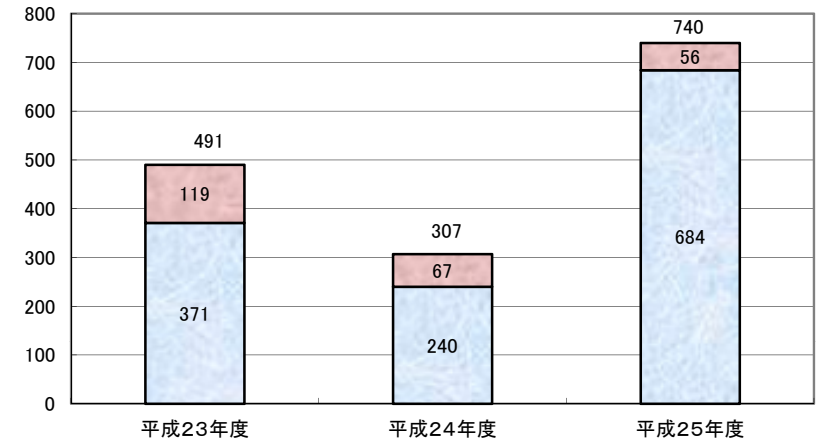


図-10

連結減価償却費の推移

単位: 百万円

□ 貸与資産 □ 社用資産

